



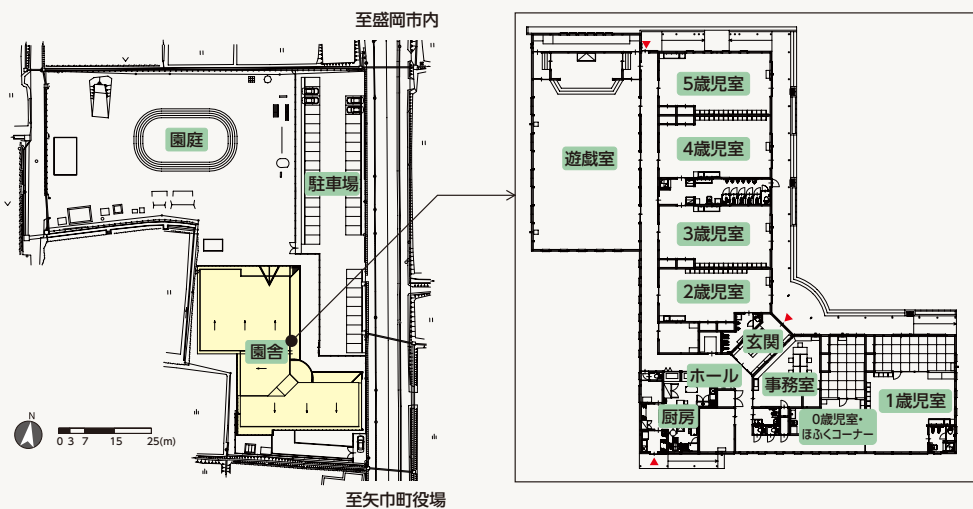
矢巾町立 けむやま ほうくえん 煙山保育園

施工地／岩手県紫波郡矢巾町
大字上矢次第7地割29-1
竣工年月／平成26年12月
敷地面積／6,323.37m²
延床面積／996.10m²
構造／木造平屋建
定員／150名

心と体の成長を見守り

昭和37年の創園より50年以上にわたり子どもたちの健やかな成長を見守り続けてきました矢巾町立煙山保育園の旧園舎は、建築後約40年が経過し設備の老朽化や狭隘化が顕著となり、耐震面での安全対策の必要性などから新しい施設への建替えが待ち望まれておりました。また入園幼児の低年齢化に伴う多様な保育ニーズへの対応や安心・安全な保育環境の構築、入園待機幼児解消のための施設整備など、これらを踏まえた十分な保育サービスの提供を行うため、平成26年12月に多くの子どもたちと共に輝く未来に向け歩み始めました。

配置図・平面図



充実の保育環境

園舎内は子どもたちの多様な生活を支える安全な心地よい空間作りをおこないました。木造園舎の保育室や遊戯室は木の温もりが感じられる落ち着いた空間とし、ハイサイドライトから降りそそぐ陽光が、優しく子どもたちを包み込む明るくのびやかな環境を構築しました。また保育室は蓄熱式床暖房方式を採用し、やけど等の生活事故が発生しない快適な室内環境を整備するとともに、環境への配慮として太陽光発電設備や蓄電システム等を設置し環境負荷の低減に努めております。管理部門となる事務室は玄関に隣接させ駐車場や来園者を一元的に確認できる配置とし、管理のしやすさと利便性に配慮する諸室構成としました。屋根に曲線を取り入れた個性ある園舎は、園庭に対して下屋空間を設け、施設内外を一体的に利用する連続した子どもたちの生活と遊びの場を提供します。



ホール



0歳児室・ほふくコーナー



1歳児室



3歳児室



遊戯室

立体的な3次元の図面表現

本園の設計においては建物形状を3次元化しながら様々な情報を一元管理する、BIMによる設計手法を用いて施設計画をいたしました。既存園舎を利用しながらの限られた敷地での建替計画では、設計初期段階において3次元コンセプトモデルを作成し、具体的な建物のイメージをプロジェクト内で共有し、複数案の比較検討を行い、計画を進めました。建物外観は子どもたちを優しく迎え入れる柔らかく温かみのある雰囲気となるよう外観シミュレーションを行うと共に、屋根等の詳細検討を3次元モデルで行い計画の整合性を図りました。2次元の図面だけでは伝わりづらい施設全体のイメージなど、園の皆様にも容易にご確認いただき、スムーズかつ的確な設計を行うことができました。

BIMとは、(Building Information Modeling)

ビルディング インフォメーション モデリングの略称で、コンピューター上に作成した3次元の形状情報に加え、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等の建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することです。建物情報モデルに蓄積された情報を活用することで、建築ビジネス業務の効率化、建築プロセスの変革が期待されています。



[基本設計時の外観イメージ図]